Windows 版 NUOPT V11 修正パッチのご説明

2009/07/10 (株)数理システム

本パッチは NUOPT V11 ライブラリのバージョンを 11.1.9 にするパッチです. 既に 11.1.9 以降のライブラリをお使いの方は本パッチを反映させる必要はございません.

修正パッチ反映方法

Windows 版 NUOPT V11 修正パッチの反映方法をご説明します.以下,NUOPT のインス トール先をデフォルトの C:¥Program Files¥NUOPT とします.修正パッチの反映はライセ ンスのインストール前,インストール後のいずれでも有効です¹. 必ず NUOPT GUI が起動 していない状態で修正パッチを反映してください.また,<u>この作業は必ず Administrator 権</u> 限を持ったユーザが行ってください.

1. NUOPT が使用しているコンパイラの種類にあったパッチ「20090710_patch_<コンパイ ラ名>.zip」をダウンロードしてください.

http://www.msi.co.jp/nuopt/support/nuopt_to_11_1_9_patch.html

から、ダウンロードすることができます.

NUOPT が使用しているコンパイラの種類とは, NUOPT のインストール時に指定したコンパイラのことで,インストール時に次の画面(図1)で指定したものです.

NUOPT セットアップ		×
C++コンパイラの選択		
	使用するC++コンパイラを選択してください。	
InstallShield	< 戻る(但) 沈へ (別)>	キャンセル

図1 インストール時のコンパイラ指定画面

コンパイラの種類が分からない場合は、システム管理者にお聞きください.

¹ ライセンスのインストールとは License.nuk のダブルクリックのこと、もしくは Windows メニューの「NUOPT License Install」を実行することをさします。

2. 修正パッチを適当なフォルダーに解凍します. 解凍すると「20090710_patch_<*コンパイ ラ名*>」というフォルダーが作成され, そのフォルダーの下には次の 2 つのファイルが生成されていることを確認してください(図 2).

- patch.exe
- patch.data

C:¥temp¥20090710_patch_VS200	5			
ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	お気に入り(<u>A</u>) ツ	ール① ヘルプ(出	>	1
😋 戻る 🔹 🕥 - 💋 🔎 ;	検索 🦻 フォルダ	陰 🕹 🕽	× 🍤 💷 ·	
アドレス(①) 🛅 C:¥temp¥20090710_	patch_VS2005			💌 🛃 移動
名前	サイズ	種類	更新日時	
🐻 patch.data	28,855 KB	DATA ファイル	2009/07/10 11:03	
patch.exe	60 KB	アプリケーション	2009/07/10 11:02	
 2 個のオブジェクト (空きディスク領域: 3	7.1 GB)		282 MB 🛛 🚽 אעב אד	.1-9 <i>//</i>

図2 「C:¥temp」に解凍した場合

3.2のフォルダー「20090710_patch_<*コンパイラ名>*」ごと、NUOPTのインストール先のフォルダーへコピー(移動)します. コピーをすると、NUOPTのインストール先のフォルダーは図 3 のようになります.

C:¥Program Files¥NUOPT			_ 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) おう	気に入り(A) ツール(D) ヘルプ(H)		1
🔇 戻る 🔹 🕥 · ಶ 🔎 検索	R 📂 7#NĞ 📴 🏂 🗙	(19 🛄•	
アドレス(D) 🛅 C:¥Program Files¥NUC	PT.		💌 芛 移動
名前	サイズ 種類	更新日時	
20090616_patch_VS2005	ファイル フォルダ	2009/06/17 13:49	
Din	ファイル フォルダ	2009/01/05 17:55	
Cmd	ファイル フォルダ	2009/01/05 17:55	
EXCEL	ファイル フォルダ	2009/01/05 17:55	
🛅 Icon	ファイル フォルダ	2009/01/05 17:55	
👝 per l	ファイル フォルダ	2009/01/05 17:55	
🛅 routing	ファイル フォルダ	2009/01/07 17:55	
Contine 32	ファイル フォルダ	2009/01/08 18:34	•
1 個のオブジェクトを選択		j i	🧕 २२ प्रार्था – १२ 🛛 🥼

図3

4.エクスプローラーで,フォルダー「20090710_patch_<*コンパイラ名*>」の中を表示させ, patch.exe をダブルクリックで実行させます. すると, DOS プロンプトが立ち上がり,修正 パッチの反映処理が自動実行されます(図4).

GX GXNUOPT¥20080624_patch_vs2005¥patch.exe	_ 🗆 🗵
″aldvarCheck.h を置き換えました.″	_
″aldvarCheck2.h を置き換えました.″	
″AllDiffEF.h を置き換えました.″	
″Arc.h を置き換えました.″	
"AreaCond.h を置き換えました. "	
″Arg.h を置き換えました.″	
″argUtils.h_を置き換えました.″	
″array.h を置き換えました.″	
″ArrayBuffer <u>.h</u> を置き換えました.″	
″ASecEF.h を置き換えました.″	
″ASechEF.h を置き換えました.″	
『ASinEF.h を置き換えました.″	
ASinhEF.h を置き換えました. ″	
ASinpiEF.h を置き換えました。 ″	
AsMatrixEF.h を直き換えました。	
~ATan2EF.h を直き換えました. ″	
~ATanEF.h を直き換えました。~	
~ATanhEF.h を直き換えました. ~	
「Alanpith.h を直ざ換えました。"	
「BBBoundlype.h を直さ換えました。"	
BBNuoptIF.h を直さ換えました。	
BBPseudolostlerminallF.h を直ざ換えました。	
BBPseudolostierminalLocal.h を直さ換えました。	
BBSolverInterruption.h を直さ換えました.	
	•

図4

修正パッチの反映処理が正常に動作すると、図5のDOSプロンプトような文言が表示されま すので、スペースキーなどを押して終了してください.以上で修正パッチが正しく反映された 状態となります.



図 5

パッチ反映後にインストーラーから修復インストールを実行する1ことにより,パッチの状態 が元に戻ります.その場合は,再度パッチの反映処理をしていただく必要があります.

1 変更インストールでは、パッチを元に戻すことはできません.

5. 修正パッチが正しく反映されたかは、モデルを実行させることにより確認することが出来 ます.この時、修正パッチの反映処理の後にビルドされたモデルを実行する必要があることに ご注意ください.

修正パッチが正しく反映されている場合は,NUOPTのバージョンが「11.1.9」となります(図 6).



一以上一